



『From 7 第 64 回 歯科医師 歯科衛生士 歯科技工士 コーディネーターMeeting』

日時：平成 27 年 5 月 13 日(水) 19：15-21：00

場所：白鳥歯科インプラントセンター2F 研修室

演題

1. 【世界の歯科業界の現状と最新マテリアル ～ドイツIDSデンタルショー報告～】

大信貿易株式会社 主任 岩丸 竜也

『日本にCAD/CAMシステムが導入され数年、製作過程・マテリアル等々に変革が起こってきております。また、世界では現在でも新たに多くの商品が開発されており歯科業界の機械化が進んできております。2年に1度のワールドデンタルショー（ドイツ）を2015年3月にドイツにて開催されましたIDS情報を中心にデジタルデンティストリーがもたらす日本の歯科業界の今後についてお伝えさせていただきますので情報収集して頂ければ幸いです。』

2. 【サージカルガイドの製作】

歯科技工士 藤井 春菜（白鳥歯科インプラントセンター）

『インプラント治療において、より質の高い治療や補綴物を提供するためには、術前の十分な診査・診断が重要になります。そのため、当院では、ほぼ全てのインプラント埋入ケースにおいて、サージカルガイドを使用しています。今回はサージカルガイドの製作方法についての注意点や改善点を見直したいと思います。』

3. 【How do we approach cases with extremely high esthetic demands?】

歯科医師 白鳥 清人（白鳥歯科インプラントセンター）

『インプラント治療が進歩した現在、審美領域のインプラント治療は、その治療方法、使用するマテリアル、そして、その治療ゴールも決して一つではない。患者の求めている治療アプローチと治療ゴール、そして、我々歯科医師側の持っている治療アプローチ法と治療ゴールのオプションを同じ机の上に乗せて、慎重に治療計画を立てていかなければならない。今回は、患者側からの高い審美要求があったケースにおいての審査診断と治療方法を報告してみたい。』